

## 地域調和型復興住宅建設支援

「地域調和型復興住宅建設支援補助金」は、地震被害が特に大きかった柏崎市・刈羽村地域での住宅の自立再建の支援のため、その気候・風土等に適合する住宅を建設する方に補助金を交付するものです。

### 1 補助対象者

地域調和型復興住宅を受注・施工する県内建築業者又は建築業者で構成する団体

### 2 補助要件

- ▶ 裏面の「柏崎市・刈羽村認定仕様」から の要件を全て満たす住宅の建設が対象となります。
- ▶ 建築費は 2,000 万円(外構工事・敷地内設備配管工事(建物周囲 1m以上の部分に限る)等は建築経費に含まない)までを上限とします。詳しくは建築住宅課までご相談下さい。
- ▶ 補助対象者は、本事業の補助金額を施主に還元して、負担を軽減していただきます。(上限 2,000 万円から 180 万円を還元していただきます。)

### 3 補助金額

1 棟当たり 180 万円(定額)

### 4 申請時期

補助金交付申請に関しては事業実施の 1ヶ月前までに、補助事業実績報告書兼補助金請求書に関しては事業の終了した日から 20 日以内に提出してください。

### 5 注意事項

- (1) 補助事業の完了により補助申請者に相当の利益が生ずると認められる場合には、当該補助金交付の目的に反しない場合に限り、その交付した補助金の全部又は一部に相当する金額を基金に納付していただきます。
- (2) 以下のア～ウに該当する場合には、補助金の交付決定の全部若しくは一部を取り消します。
  - ア 補助金を他の用途に使用したとき。
  - イ 虚偽の申請、その他不正な行為により補助金の交付決定を受けたとき。
  - ウ その他、当該補助金交付要綱又はこれに基づく指示に違反したとき。

### 6 帳簿の備付け

補助申請者は、本事業に係る収入及び支出の状況を明らかにした帳簿を備え、かつ、収入及び支出についての証拠書類を整理して、当該事業が完了した年度の翌年度から 5 年間保存していただきます。

**住宅着工前に認定仕様に該当するかを事前審査しますので、必ず事前にご相談ください。**

# 域調和型復興住宅建設支援

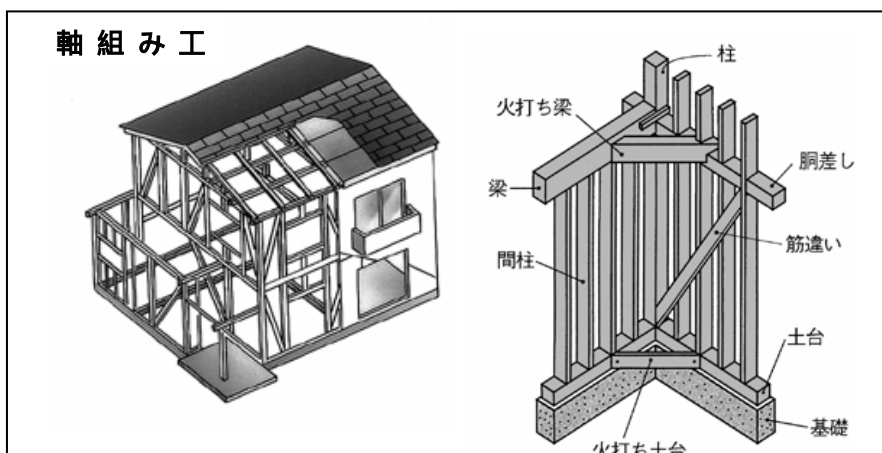
## 柏崎市・刈羽村認定仕様

### 県産材の活用

住宅資材として「越後杉ブランド」を延べ床面積 1 m<sup>2</sup>あたり、0.07 m<sup>3</sup>以上使用した住宅であること。

(基準は「越後杉で家づくり復興支援事業」と同様です。)

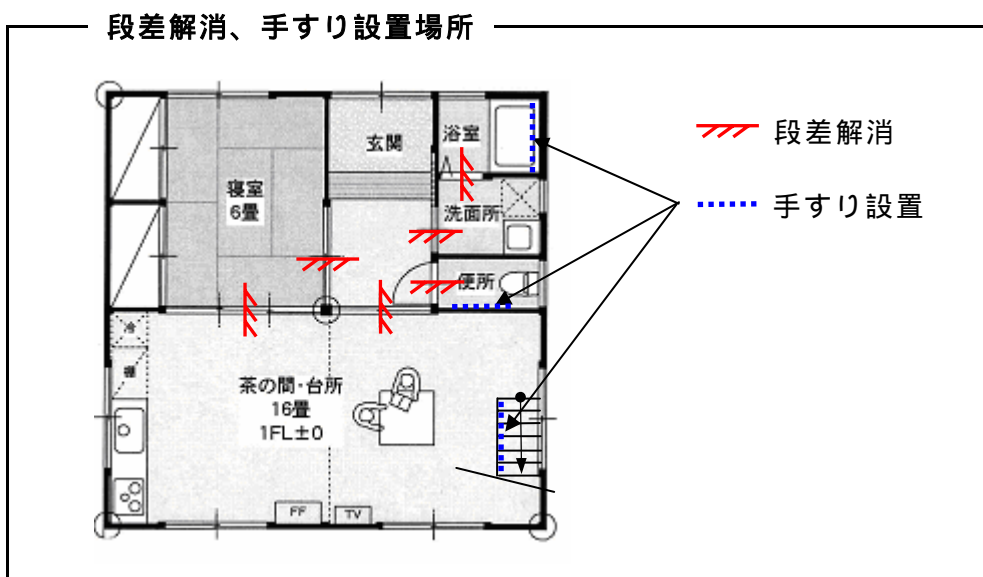
なお、構造材には「越後杉ブランド」を使用することを基本とします。構造材とは、下図の柱、梁等の軸組みに使用する材料のことです。また、「越後杉ブランド」とは新潟県で育った杉を厳正な品質管理により製材した木材で、曲がりやねじれが少なく、より安全で安心な住宅資材のことです。



### バリアフリー対策

高齢者等が安全かつ快適に生活できるよう配慮された住宅であること。

- ・ 段差解消：居室、廊下、便所、浴室、脱衣室、洗面所 日常生活空間内
- ・ 手すりの設置：階段、便所、浴室（玄関、脱衣室は手すり下地の準備）



## 構造の安定

### 1 「耐雪・耐風性能」に係る補助基準

以下の 又は の基準を満たすもの。

在来軸組工法の木造の住宅の場合

以下のア～ウの全てを満たすもの

ア 軸組を構成する各部材は表1に掲げる寸法以上又はこれと同等以上の耐力を有する部材とし、かつ柱の直下率は60%以上のもの。

表1

部材		樹種	幅(mm)	高さ(mm)	備考
土台		注1	120	120	
柱	通し柱	注2	120	120	
	管柱		120	120	
小屋梁	梁間3.6m	A	120	330	小屋梁の間隔 1.8m
		B・C	120	270	
	梁間4.5m	A	120	450	
		B・C	120	300	
モヤ		A	105	105	スパン1.8m
		B・C	90	105	ピッチ90cm
タルキ	軒先以外の部分	A	45	60	スパン90cm
		B・C	45	50	ピッチ36cm
	軒先部分、軒の出90cm	A	45	60	ピッチ18cm
		B・C	45	50	ピッチ18cm
	軒先部分、軒の出45cm	A	45	60	ピッチ36cm
		B・C	45	50	ピッチ36cm

注1 土台の樹種については次によることとする。

ひのき、ひば、べいひ、べいひば、くり、けやき、べいすぎ、台湾ひのき、こうやまき、さわら、ねずこ、いちい、かや、ウエスタンレッドシーダー、インセンスシーダー又はセンペルセコイヤ（もしくはこれらの樹種を使用した構造用集成材又は構造用単板積層材）

注2 柱の樹種については次によることとする。

ひのき、ひば、べいひ、けやき、台湾ひのき、すぎ、からまつ、べいすぎ、くり、ダフリカからまつ、べいひば、こうやまき、さわら、ねずこ、いちい、かや、くぬぎ、みずなら、べいまつ（ダグラスファー）、ウエスタンレッドシーダー、アピトン、ウエスタンラーチ、カプール、ケンパス、セラガンバツ、タマラック又はパシフィックコーストイエローシーダー（もしくはこれらの樹種を使用した化粧ばり構造用集成柱、構造用集成材又は構造用単板積層材）

注3 その他の樹種については次によることとする。

A種：すぎ、べいすぎ、えぞまつ、とどまつ、べいつが  
B種：からまつ、ひば、べいひ、あて、つが  
C種：あかまつ、べいまつ、くろまつ

注4 必要に応じて軒桁の断面も割増すること。

注5 階数が1の住宅の場合、土台、柱は105×105とすることも差し支えない。

イ 基礎が一体の鉄筋コンクリート造のもの

ウ 見付面積に乗ずる数値が、建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第46条第4項の表3に掲げる数値の1.2倍以上のもの。

参 考

見付け面積に乗ずる数値	60
-------------	----

在来軸組工法の木造の住宅以外の住宅の場合

建築基準法（昭和25年法律第201号）に基づく構造計算によって安全であることが確かめられたもの。ただし、暴風時の耐力の1.2倍の性能を有すると認められるもの。また、建築基準法施行令第82条第2号の長期に生ずる力の算定において「 $0.7S$ 」とあるものを「 $S$ 」として算定し、同令第86条第6項の規定は適用しないものとして構造計算を行うものとする。

## 環境に配慮した技術

柏崎・刈羽地域が「EV・PHV タウン」のモデル地域に選定され、新エネルギー・省エネルギーを通じたまちづくり・産業振興に取り組んでいることから下記による環境に配慮した技術を1つ以上導入した住宅について支援します。

- ・ 高気密化した住宅：住宅金融支援機構に準じた気密性以上の性能を有しているもの
- ・ 高断熱化した住宅：住宅金融支援機構の 地域(高柳町地域にあっては 地域)以上の性能を有しているもの
- ・ エコキュート又はエコジョーズを1つ以上採用するなどCO<sub>2</sub>の削減を図っているもの
- ・ 照明をLEDとした住宅：全体の照明数の1/4以上をLEDとすることとし、かつ主に使用する部屋1ヶ所以上をLEDとするなどCO<sub>2</sub>の削減を図っているもの
- ・ 太陽光発電を採用するなどCO<sub>2</sub>の削減を図っているもの
- ・ 塩害対策仕様資材の住宅：屋根、破風をオールステンレスにするなど塩害対策を図っているもの

## 補助金交付申請時提出書類

- (1) 被災者住宅支援対策事業(地域調和型復興住宅建設支援)補助金交付申請書
- (2) 事業計画書
- (3) 基準適合チェック表
- (4) 建築請負契約書(写し可)
- (5) 罹災証明書(写し可)
- (6) 仕様計画書(越後杉ブランド材の使用量(材積)がわかるもの)
- (7) 平面図(段差解消・手すり設置部分、延床面積を記載)
- (8) 立面図(環境に配慮した部分及び屋根については耐雪対策について記載)
- (9) その他市長が必要と認める書類\*

※環境に配慮した部分について具体的に記載した仕様書、図面、又はカタログ等

※壁量計算書、柱の直下率算定図等

お問い合わせ：

柏崎市都市整備部建築住宅課

電話：0257-21-2290(直通)



平成 年 月 日

財団法人新潟県中越沖地震復興基金  
理事長 様

所在地  
申請者 事業者名 印  
代表者名

平成 年度被災者住宅支援対策事業（地域調和型復興住宅建設支援）  
補助金交付申請書

このことについて、被災者住宅支援対策事業（地域調和型復興住宅建設支援）補助金  
交付要綱第4条の規定に基づき、関係書類を添えて下記のとおり交付申請します。

記

1 交付申請額 円

2 添付書類

- (1) 別紙「事業計画書」（必要に応じて指定する添付書類を含む。）
- (2) 罹災証明書（写し）
- (3) 工事請負契約書（※契約済みの場合のみ）

.....（以下基金事務局記載欄、申請者記載不要）.....

事業番号	市町村	受付番号
30120		

## 事業計画書

### (1)申請者等

施 主	下記の施工業者が申請手続きをすることに合意します。 (住所) (氏名) 印 (連絡先) TEL ( ) -
施工業者	(住所) (氏名<名称>) (代表者名) (連絡先) TEL ( ) -

### (2)工事概要 (計画)

工 事 時 期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
工 事 場 所	市町村 番地
補助対象事業費	円
補助金申請金額	円 (千円未満切捨て)

-----

上記事業計画は、申請者が（市町村）に提出した資料に基づき、地域調和型復興住宅建設支援の住仕様で建築されることを確認しました。

平成 年 月 日

市町村長

印

低コスト復興住宅支援 基準適合チェック表（太線枠内を記入して下さい）

県産材の活用

建物延べ床面積	m <sup>2</sup>	…
越後杉ブランド	m <sup>3</sup>	…
使用量（ / ）		0.07 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup>

バリアフリー対策

項目	仕様
段差の解消	図面中に段差解消マークを明記 日常生活空間内 居室、廊下、便所、浴室、脱衣室、洗面所
手すりの設置 (手すり下地の準備)	図面中に手すりの設置位置を明記 階段、便所、浴室（玄関、脱衣室は手すり下地の準備）

構造の安定

柱の直下率・基礎の構造

項目	工事内容	備考	判定欄（ ）
柱の直下率	%		
基礎の構造 (いずれかに)	・鉄筋コンクリート造 ・それ以外		

構造材の使用材料

部材		樹種	幅 (mm)	高さ (mm)	備考	判定欄 ( )
土台						
柱						
小屋梁	梁間3.6m				小屋梁の間隔 :	
	梁間4.5m					
モヤ					スパン： ピッチ：	
タルキ	軒先以外の部分				スパン： ピッチ：	
	軒先部分、軒の出90cm				スパン： ピッチ：	
	軒先部分、軒の出45cm				スパン： ピッチ：	

## 耐風

項目	方向	平屋建の場合	2階建の場合		判定欄 (※)
			1階	2階	
壁量 (cm/m <sup>2</sup> )	X				
	Y				

## 環境に配慮した技術

環境に配慮した技術等	
------------	--

具体的に記入してください。仕様書、図面、又はカタログ等を添付してください。

## 実績報告及び請求時提出書類

- (1) 被災者住宅支援対策事業（地域調和型復興住宅建設支援）補助金実績報告書  
兼補助金  
請求書
- (2) 地域調和型復興住宅建設支援補助金の申請等に係る建築主の完了確認  
（添付書類）
  - ・工事代金の内訳が分かるもの
  - ・請求書(値引き額が分かるもの)
  - ・領収書の写し
- (3) 基準適合チェック表
- (4) 建築請負契約書（写し可）
- (5) 被災証明書（写し可）
- (6) 完了写真（4仕様の条件を確認できるもの）
- (7) 通帳の口座番号、口座名義人（カタカナ）のわかる面の写し
- (8) 使用材料確認書類
  - ・製品納材証明書（書式は任意としますが、出荷量が判別できること）
  - ・越後杉ブランド証明書
- (9) 平面図（段差解消・手すり設置部分、延床面積、完了写真撮影方向が確認できるよう記載）
- (10) 立面図（環境に配慮した部分及び屋根については耐雪対策について記載）
- (11) その他市長が必要と認める書類
  - ※環境に配慮した部分について具体的に記載した仕様書、図面、又はカタログ等
  - ※壁量計算書、柱の直下率算定図等
  - ※領収書の写し  
（振込金受領書、当座勘定照合表、振込受付書、ATM取引明細書等）  
（領収書等には180万円どのように値引きされているか記載すること）



財団法人新潟県中越沖地震復興基金  
理事長 様

所在地

申請者 事業者名  
代表者名

印

被災者住宅支援対策事業（地域調和型復興住宅建設支援）  
補助金実績報告書兼補助金請求書

財団法人新潟県中越沖地震復興基金補助金等交付規程第12条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告し、併せて補助金の交付を請求します。

記

1 補助金請求額 金 円

2 交付決定内容

(1) 交付決定通知 平成 年 月 日付け 第 号 (の )

(2) 交付決定額 金 円

3 事業完了年月日 平成 年 月 日

4 添付書類

- (1) 別紙「建築主及び市町村長の完了確認書」（必要に応じて指定する添付書類含む）
- (2) 完成写真
- (3) 建築請負契約書の写し（※交付申請書に添付していない場合のみ）
- (4) 領収書の写し

5 補助金振込先

金融機関名		口座種別（いずれかに○）
支店名		普通 ・ 当座
フリガナ		
口座名義人		
口座番号		

.....（以下基金事務局記載欄、申請者記載不要）.....

事業番号	市町村	受付番号
30120		

別紙

地域調和型復興住宅建設支援補助金の申請等に係る建築主の完了確認

<p>申請者</p>	<p>実績報告したとおり、地域調和型復興住宅の建築が完了したことから、工事請負代金を下記のとおり請求しました。</p> <p>①総事業費 _____円</p> <p>②補助値引 <u>1,800,000</u>円</p> <p>③請求額 _____円</p> <p>(所在地) (事業者名) 印 (代表者名)</p>
<p>施主</p>	<p>下記の施工業者が実績報告したとおり、地域調和型復興住宅の建築が完了したことを確認しました。なお、工事請負代金について、上記のとおり請求を受け、平成 年 月 日に支払いをしました。</p> <p>(住所) (氏名) 印</p>

(添付書類)

- ①工事代金の内訳が分かるもの
- ②請求書（値引き額が分かるもの）
- ③領収書の写し

-----

実績報告書兼補助金請求書に記載のとおり、地域調和型復興住宅建設支援の住仕様での建築が完了したことを確認しました。

平成 年 月 日

市町村長

印